

平成25年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年9月7日

上場会社名 株式会社OSGコーポレーション
 コード番号 6757 URL <http://www.osg-nandemonet.co.jp/>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 溝端 雅敏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 藤沢 和一

TEL 06-6357-0101

四半期報告書提出予定日 平成24年9月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第2四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第2四半期	2,498	△14.8	105	△75.1	106	△74.0	55	△72.9
24年1月期第2四半期	2,930	4.9	423	8.5	410	8.9	204	△12.3

(注) 包括利益 25年1月期第2四半期 57百万円 (△72.2%) 24年1月期第2四半期 208百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第2四半期	12.29	—
24年1月期第2四半期	40.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年1月期第2四半期	3,920	1,842	46.0	400.76
24年1月期	3,815	1,885	48.1	407.86

(参考) 自己資本 25年1月期第2四半期 1,803百万円 24年1月期 1,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年1月期	—	0.00	—	—	—
25年1月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年1月期の配当金の内訳は、普通配当15円00銭、上場10周年記念配当5円00銭となっております。

3. 平成25年1月期の連結業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,050	△5.0	270	△39.1	270	△36.4	160	△26.5	35.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年1月期2Q	5,000,000 株	24年1月期	5,000,000 株
② 期末自己株式数	25年1月期2Q	500,215 株	24年1月期	500,215 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年1月期2Q	4,499,785 株	24年1月期2Q	4,999,888 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況により異なる結果となる場合がありますのでご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復の兆しがみられたものの、欧州の財政危機による世界景気の減速や株式市場の低迷、長引く円高等の影響等により、先行きは未だ不透明で予断を許さない状況にあります。また、長期にわたるデフレ基調の経済環境が継続していることなどから、企業の業況は厳しい状況が継続しております。

このような情勢のもと、当社グループとしては原発問題による水の安心・安全の問題や、節電による熱中症対策など、市場拡大のチャンスは今後も益々広がると判断し、福島営業所を始めとする積極的な営業拠点展開を行い、更に新事業のM&A活動を展開してまいりました。

その結果、新設の営業拠点や新規事業への人員配置など、将来の成長に向けて人材育成を兼ねた部署間及び事業間の大幅な人事異動を行いました。しかしながら、それによる拠点責任者などの管理職教育や人員補充及び人材育成が計画より遅れた事などが、業績に全般的に影響をもたらしました。

水関連機器事業につきましては、売上高1,268,382千円（前年同期比19.1%減）、メンテナンス事業につきましては、売上高785,640千円（同5.0%減）、HOD（水宅配）事業につきましては、売上高416,352千円（同15.9%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,498,446千円（同14.8%減）、営業利益105,645千円（同75.1%減）、経常利益106,837千円（同74.0%減）、四半期純利益は負ののれん発生益10,383千円等が発生したことにより、55,285千円（同72.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,314,923千円となり、前連結会計年度末に比べ129,789千円増加となりました。これは主に、現金及び預金が245,736千円減少しましたが、受取手形及び売掛金が330,628千円増加したこと等によるものであります。また、固定資産は1,605,679千円となり、前連結会計年度末に比べ24,373千円減少となりました。これは主に、減価償却による44,532千円の減少等によるものであります。

この結果、総資産は、3,920,603千円となり、前連結会計年度末に比べ105,415千円増加となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,398,778千円となり、前連結会計年度末に比べ52,784千円増加となりました。これは主に、一年内償還予定の社債が200,000千円減少しましたが、短期借入金が166,000千円、その他負債が71,705千円、それぞれ増加したこと等によるものであります。また、固定負債は679,304千円となり、前連結会計年度末に比べ95,365千円増加となりました。これは主に、社債が20,000千円減少しましたが、長期借入金が116,708千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、2,078,083千円となり、前連結会計年度末に比べ148,150千円増加となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,842,519千円となり、前連結会計年度末に比べ42,734千円減少となりました。これは主に利益剰余金が34,709千円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.0%（前連結会計年度末は48.1%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は223,742千円となり、前連結会計年度末と比較して141,243千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は211,537千円の支出（前年同期は15,775千円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益116,608千円等がありましたが、売上債権の増加額331,024千円、たな卸資産の増加額55,926千円等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は85,079千円の収入（前年同期は32,576千円の支出）となりました。主な要因は、関係会社株式の取得による支出10,500千円、有形固定資産の取得による支出12,405千円等がありましたが、定期預金の減少額104,493千円の収入によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は16,654千円の支出（前年同期は93,480千円の収入）となりました。主な要因は短期借入金の増加額166,000千円による収入、長期借入金による収入200,000千円がありましたが、社債償還による支出220,000千円、配当金の支払額89,299千円、長期借入金の返済による支出58,191千円、ファイナンス・リース債務の返済による支出15,163千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年1月期の連結業績予想につきましては、平成24年9月7日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	632,881	387,144
受取手形及び売掛金	892,992	1,223,620
商品及び製品	326,057	385,556
原材料及び貯蔵品	256,075	253,471
繰延税金資産	44,470	43,524
その他	39,357	34,920
貸倒引当金	△6,700	△13,315
流動資産合計	2,185,134	2,314,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,165,711	1,170,342
減価償却累計額	△818,065	△834,047
建物及び構築物（純額）	347,646	336,294
機械装置及び運搬具	222,780	222,780
減価償却累計額	△178,870	△183,175
機械装置及び運搬具（純額）	43,909	39,604
土地	723,955	723,955
建設仮勘定	2,595	3,752
その他	498,246	505,398
減価償却累計額	△415,111	△433,590
その他（純額）	83,135	71,808
有形固定資産合計	1,201,241	1,175,414
無形固定資産		
工業所有権	22	16
その他	34,347	37,923
無形固定資産合計	34,369	37,940
投資その他の資産		
投資有価証券	55,623	59,902
長期貸付金	58,495	59,051
繰延税金資産	52,008	52,998
その他	285,896	276,111
貸倒引当金	△57,582	△55,740
投資その他の資産合計	394,441	392,323
固定資産合計	1,630,052	1,605,679
資産合計	3,815,187	3,920,603

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	377,057	399,858
短期借入金	288,000	454,000
1年内返済予定の長期借入金	76,753	101,924
1年内償還予定の社債	240,000	40,000
リース債務	29,324	25,125
未払法人税等	106,490	64,660
賞与引当金	37,290	39,284
役員賞与引当金	1,470	735
返品調整引当金	4,948	16,826
その他	184,660	256,365
流動負債合計	1,345,993	1,398,778
固定負債		
社債	140,000	120,000
長期借入金	172,762	289,470
リース債務	33,166	30,221
退職給付引当金	107,017	104,545
役員退職慰労引当金	113,450	115,689
資産除去債務	13,772	13,922
その他	3,771	5,455
固定負債合計	583,939	679,304
負債合計	1,929,933	2,078,083
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,000	601,000
資本剰余金	690,401	690,401
利益剰余金	777,828	743,118
自己株式	△195,576	△195,576
株主資本合計	1,873,654	1,838,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,332	△1,932
為替換算調整勘定	△36,046	△33,665
その他の包括利益累計額合計	△38,378	△35,597
少数株主持分	49,979	39,172
純資産合計	1,885,254	1,842,519
負債純資産合計	3,815,187	3,920,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
売上高	2,930,942	2,498,446
売上原価	1,012,764	887,962
売上総利益	1,918,178	1,610,483
販売費及び一般管理費	1,494,629	1,504,837
営業利益	423,548	105,645
営業外収益		
受取利息	669	2,676
受取保険金	—	6,463
保険解約返戻金	1,556	1,286
その他	2,691	3,560
営業外収益合計	4,916	13,985
営業外費用		
支払利息	5,810	6,863
持分法による投資損失	1,463	2,658
社債発行費償却	5,217	—
為替差損	1,466	93
その他	3,712	3,177
営業外費用合計	17,670	12,793
経常利益	410,794	106,837
特別利益		
負ののれん発生益	—	10,383
特別利益合計	—	10,383
特別損失		
固定資産除却損	10	—
投資有価証券評価損	3,492	—
関係会社株式売却損	—	612
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,549	—
特別損失合計	17,051	612
税金等調整前四半期純利益	393,742	116,608
法人税、住民税及び事業税	181,335	59,041
法人税等調整額	△203	2,285
法人税等合計	181,131	61,326
少数株主損益調整前四半期純利益	212,610	55,282
少数株主利益又は少数株主損失(△)	8,269	△3
四半期純利益	204,341	55,285

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	212,610	55,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,653	400
為替換算調整勘定	△6,237	2,103
持分法適用会社に対する持分相当額	△478	126
その他の包括利益合計	△4,062	2,630
四半期包括利益	208,547	57,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,530	58,067
少数株主に係る四半期包括利益	8,017	△154

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	393,742	116,608
減価償却費	40,826	44,532
のれん償却額	1,083	—
投資有価証券評価損益(△は益)	3,492	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,725	4,772
返品調整引当金の増減額(△は減少)	3,501	11,878
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,672	△2,472
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,725	2,239
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,549	—
受取利息及び受取配当金	△781	△2,786
支払利息	5,810	6,863
為替差損益(△は益)	1,002	△345
社債発行費	5,217	—
負ののれん発生益	—	△10,383
持分法による投資損益(△は益)	1,463	2,658
固定資産除却損	10	—
売上債権の増減額(△は増加)	△445,660	△331,024
たな卸資産の増減額(△は増加)	△93,099	△55,926
その他の流動資産の増減額(△は増加)	5,265	—
仕入債務の増減額(△は減少)	182,113	22,660
その他	37,233	78,608
小計	160,550	△112,116
利息及び配当金の受取額	788	3,203
利息の支払額	△5,182	△7,284
法人税等の支払額	△140,381	△95,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,775	△211,537
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△34,222	104,493
関係会社株式の取得による支出	—	△10,500
有形固定資産の取得による支出	△754	△12,405
関係会社株式の売却による収入	—	5,548
関係会社貸付けによる支出	—	△4,456
関係会社貸付金の回収による収入	2,400	2,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,576	85,079
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	38,000	166,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△35,555	△58,191
自己株式の取得による支出	△29	—
社債の発行による収入	194,782	—
社債の償還による支出	—	△220,000
配当金の支払額	△99,372	△89,299
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,345	△15,163
財務活動によるキャッシュ・フロー	93,480	△16,654
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,494	1,868
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72,185	△141,243
現金及び現金同等物の期首残高	287,392	364,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	359,577	223,742

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年2月1日至平成23年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	水関連機 器事業 (千円)	メンテナ ンス事業 (千円)	H O D (水宅配) 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	1,567,657	827,079	495,171	41,033	2,930,942	—	2,930,942
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,567,657	827,079	495,171	41,033	2,930,942	—	2,930,942
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	344,911	120,947	48,213	△1,500	512,571	△89,023	423,548

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△89,023千円は、主に提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	水関連機 器事業 (千円)	メンテナ ンス事業 (千円)	H O D (水宅配) 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	1,268,382	785,640	416,352	28,070	2,498,446	—	2,498,446
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,268,382	785,640	416,352	28,070	2,498,446	—	2,498,446
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	97,659	128,302	△25,726	△7,764	192,470	△86,824	105,645

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△86,824千円は、主に提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。